

「福島は今～なまの声を聴く会」開催のご案内



日時：2013年3月24日(日)

13時30分～15時30分
(質疑応答を含む)

会場：立教大学池袋キャンパス
太刀川記念館
3階多目的ホール
(地図参照)

お話し：佐々木るりさん
(福島県二本松市在住)

原発事故から2年、今母として伝えたいこと

佐々木るりさんプロフィール：1973年生まれ。福島県二本松市在住。

真宗大谷派寺院「真行寺」で副住職の夫と共に寺務職の傍ら、寺に隣接する同朋幼稚園の教諭を務める。五児の母。

福島第一原発事故以降、こどもたちを被曝の影響から守るために、夫である佐々木道範が

立ち上げた、NPO法人TEAM二本松で食品放射能測定、子どもたちの県外保養、内部被ばく検査、除染などに取り組みながら、園児の母たちと「ハハレンジャー」を結成し、全国から送られてくるお野菜支援の青空市場開催、セシウム0の園児食「るりめし」作り、講演など多方面で活動中。

<< 参加費無料 >>

参加ご希望の方は、なるべく事前にお申し込みくださいますようお願い致します。

申し込み/問い合わせ先 070-6603-1475 (鈴木) または publicitywork@infoseek.jp

市民と科学者の内部被曝問題研究会のホームページもご覧ください。 www.acsir.org

